

区民要求実現大集会
11月29日18:30~21:00
練馬区立生涯学習センター

練馬労連

発行所：練馬区労働組合総連合
練馬区中村北1-6-2
東京土建練馬支部内
電話03-3825-7146
fax 03-3825-7117

練馬労連第20会定期大会開催

20周年を目前に控え新たな闘いの決意を！

10月20日、練馬労連第20会定期大会が開催されました。大会は27組合中14組合、大会登録代議員数63名中57名の参加がありました。

大会は、ご多忙中にも関わらず、東京地評から久保常任幹事、練馬民商から、井賀会長、練馬区労協から、松澤事務協区長、日本共産党から、今衆院議員候補、坂尻衆院議員候補が参加して下さい、それぞれ練馬労連と協力・共同し闘いを進めていくことを確認しました。



金田新議長



東京地評
久保常任幹事



練馬区労協
松澤事務局長



練馬民商 井賀会長



坂尻、今
両衆議院議員候補

みなさん、戦後長く国民を支配してきた自民政権に代わり、よましな政治をとの国民の期待を背負って誕生した民主党政権でしたが、スタート時には、自公政権のもとですすめられてきた構造改革路線の一部転換をはかり、自公政権を否定した国民の要求を反映せざるをえない状況がありました。しかし、東日本大震災や原発事故から1年半が経過した現在でも、被災者の生存権は脅かされ、未だに放射能汚染が続き、原発事故の処理や被災地の願いに応える復興への確固たる方針を示さないままです。被災地のみなさんは言うまでもなく、多くの国民や世界の国々からも対応の遅さやまずさに不満と怒りの声が増しに強まっています。結局は、民主党政権は、国民の期待を裏切り、選挙公約のマニフェストを投げ捨て、自民党・公明党が推し進め、国民が拒否した構造改革路線を一層推し進め、自公政権と何ら変わらない国民いじめの政権でしかありませんでした。原発再稼働、消費税増税、オスプレイの強行配置をはじめとする、国民の声を無視した政策も、財界やアメリカのいいなりの自公政権と何も変わらない国民いじめの政権でしかありませんでした。

新議長挨拶
地域との連帯を強め、
目に見える運動をつくらう！

しかし、これに代わる政権に、あの橋下代表が国民の立場に立たなると、今の日本の、大きな苦悩がしかしみなさん、毎週金曜日に、包囲され続けています。そして、消費税増税反対、オスプレイ配備とどまらず全国各地に広がって原発事故の対応、消費税増税の強自民・公明をはじめとする推進勢ははっきりしてきたのが今の状況でみなさん、憲法を守り、国民や私は、まさに財界やアメリカのいいことが一層明らかになってきまを、さらに推し進めようとしていにも、今こそ、わたしたちの要求を大きくするためには、組合員の職場の未加入者や非正規労働者を迎えるために、知恵を出し合っ目に見える運動をつくりあげていこうではありませんか。

の自民党の安倍総裁や日本維新の会いマスコミに持ち上げられていることがあります。

原発ゼロの怒りの声で、首相官邸が国民の怒りの声は、TPP参加反対、反対と、曜日を超えて、首相官邸にいます。

行、オスプレイの強行配備で、民主・力と、それを許さない国民の勢力が、す。

たち労働者の生活と権利を守る運動なりになっている勢力との闘いでした。これまでの国民いじめの悪政る勢力の本質を国民に知らせるとと運動を前進させ、社会への影響力仲間をふやすことが最も重要です。含むたくさんの未組織労働者を組合

みなさん、私たち練馬労連は、地域労連として新たな社会情勢の元で、労働者や区民の要求や願いを実現させるために、それぞれの加盟組合の闘いの歴史や存在意義に確信をもって自主的自覚的な運動をすすめていこうではありませんか。地域の中で私たちの運動を攻勢的に展開していくためには、練馬労連の仲間の皆さんとの共同はもとより、練馬春闘共闘の労働組合、地域の民主団体、商工業者の皆さんとも連携連帯の輪を広げ、運動の前進を切り開いていこうではありませんか。

活発な討論を展開する代議員



薬害イレッサについて訴える



集団交渉について語る
建交労佐藤代議員



高齢者の実態を述べる
年金者組合栗原代議員



公契約条例について語る
土建練馬支部鎌田代議員



アニメ業界の実態を述べる
東映動画労組星野代議員



医療現場の現在を語る
健文労吉田代議員



アスベスト訴訟の重大さを訴える
土建練馬支部桑原代議員



練馬労連
阿部事務局長



参加者全員で団結頑張ろう!!

●健文労の千田代議員は、年間900人の人が亡くなっている現実を語り、薬害で苦しむ人々を一日も早く救いたいと署名への協力を強く訴えました。そして、アストラゼネカ社が今問われているのは人としての正義であると結びました。

●東京土建練馬支部の鎌田代議員は、公契約条例の制定を勝ち取るためには、地域での共闘が必要不可欠な事であることを強調し、千葉県野田市では公契約条例の制定後、年間給与が30万円上がった例があると述べました。今求められているのは、地域の連携のみならず、「自分達自身が現状を変えるんだ」という気持ちが必要だと語りました。

●東映動画労組の星野代議員は、アニメ業界の残業代不払い、最賃法違反、一方的賃金の引き下げ、退職強要、安全配慮義務違反による労働災害など、過酷な労働条件を告発し、現在東京地裁に提訴、法定闘争を開始したことを報告。日本のアニメ業界の改革を目指して行きたいと語りました。

●建交労教宣文化社分会の佐藤代議員は、一年間の報告として、首都圏をはじめ、福岡、大阪などで行なわれている集団交渉によって、様々な要求を勝ち取ってきたと述べました。また、今後、公契約条例制定、オスプレイ反対、T P P問題、増税反対など、様々な問題について取り組んでいきたいと語りました。

●年金者組合の栗原代議員は、高齢者の70%が貧困の状態に置かれていることを報告。構造改革後破壊された社会を元に戻すべく、高齢者に優しく、若者が希望を持てる社会の実現に向け頑張っていくと語りました。

●健文労組の吉田代議員は、医療従事者が年間10万人以上退職していくことなど、16時間連続で働かねばならないなど過酷な現場の実態について、医療現場の就労状況を改善するための署名の協力を訴えました。

●都教組練馬支部の樋田代議員は、子ども達が愛情を感じられるような、きめ細かい教育の大切さ、また、親と教師の気持ちが一緒であると言えることが重要であると述べ、そのためには、30人学級を実現することが大事な要素の一つであると語りました。

●東京土建練馬支部の桑原代議員は、首都圏建設アスベスト訴訟の意義について、アスベストによる症状が出るのは30年40年後であることから、訴訟を起こしにくいことなどに触れ、建設アスベスト訴訟に勝利することは、全てのアスベスト問題を解決していく事に繋がると述べました。

●最後に闘いの先頭に立つ役員を新たに決定し、団結頑張ろうで、大会は成功しました。



愛情ある教育をと訴える
練教組樋田代議員



未組織の組織化を訴える
CU練馬支部伊藤代議員



要求を掲げ闘い抜いた
CU練馬支部仁木代議員